

感染対策への取り組みについて
 現在、新型コロナウイルスへの感染を予防するため、感染対策への取り組みが注目されています。感染対策への取り組みは、医療機関としては当たり前に取り組まねばならない課題であり、以前より、患者さんと職員を守るため、手洗い、手指消毒の実施等を徹底してきました。



感染対策室 桑原主任

感染症に備える

コロナ禍の今、感染対策室
 桑原看護主任に聞く

また、平成28年より、「感染管理」の一層の感染対策を強化するべく、院内感染対策チームによる週1回以上の巡回チェック、年2回の全職員を対象とした感染対策研修を開催しています。さらに、年1回は他の医療機関による相互チェックを行うことと、当院の感染対策を、第三者的視点で評価してもらっています。

新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスへの対応として、当院でも様々な取り組みを行っています。発熱の患者さんを確認するたため、玄関前での検温と、新型コロナウイルスに対する問診の実施。熱のある患者さんの診察時には、玄関とは別の入り口から専用の診察室で対応するなど、他の患者さんへの感染リスクを減らすための取り組みを行っています。当院では現在、新型コロナウイルス



採血時も対策を徹底

日常での新型コロナウイルス感染予防について

日常での感染予防については、以前から言われているように、手洗いと咳エチケットの徹底です。これは新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザ等の他の感染症を防ぐためにも必要です。新型コロナウイルスが他の感染症と違って厄介なことは、症状がなくても他の人に感染させるおそれがあることです。このため、知らないうちに、飛沫としてウイルスを拡散させる場合がありますので、人の集まる場所ではマスクの着用をお願いいたします。

検査が可能な施設を保健所を通じて紹介しますので、感染が心配な方はご相談ください。



熱のある方専用の入り口

感染対策チーム (Infection Control Team)

医師、看護師、薬剤師、検査技師等の様々な職種からなるチームを編成し、院内の感染対策が適切に行われているかを週1回、チェックしています。また、月1回、奈良県立医科大学感染症センターの笠原 敬教授にも指導いただいています。

◀ 感染対策チームのメンバー
 後列中央が笠原教授



地域医療の拠点として 宇陀市立病院



宇 陀地域の中心医療機関である宇陀市立病院。現在、宇陀市が進めている「地域包括ケアシステム」においても、その拠点病院として大きな役割を担っています。高齢化が進み、医療の重要性が高まるなか、医療を安全で適切に行うため、医師による診断だけでなく、診療をサポートする様々な職種の職員が日々、現場での努力を重ねています。今回は、新型コロナウイルスを含めた感染症への対策の状況と、医療を支える職員の皆さんを特集します。

問 宇陀市立病院 (☎ 82・0381)

特集
市政トピックス
うだちから
まちのわだい
みんなで子育て
病院・ウェルネス
お知らせ
掲示板
うだチャン

臨床工学技士

医療機器の操作や安全管理担当



医療事務

カルテ管理や医療費の請求を担当



診療放射線技師

放射線を使用する検査やMRIを担当



社会福祉士

退院後の生活等の相談に応じる

理学療法士

基本動作のリハビリテーションを行う

薬剤師

医薬品の調剤や服薬指導を担当

臨床検査技師

病理、生体、生理検査を担当

病院では、医師、看護師だけでなく様々な職種のメディカルスタッフが働いています。こうした異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、入院中や外来通院中の患者の生活の質（QOL）の維持・向上、患者さんの人生観を尊重した療養の実現をサポートしています。そして直接患者さんに関わる仕事だけでなく、病院は様々な職種の職員によって運営されています。

チームで支える

チーム医療により、1人の患者さんに複数のメディカルスタッフ（医療専門職）が連携して、治療やケアに当たっています。

視能訓練士

眼科の検査で医師をサポート



経理、給与担当

財務、職員の福利厚生等を担う



看護助手

医師や看護師の業務をサポート



情報システム担当

電子カルテ等、院内の情報システム管理



設備、購買担当

設備修理から契約事務までこなす

保育士

子育て支援のため、保育園を設置



管理栄養士

食事の面で治療をサポート



言語聴覚士

言語障害や嚥下訓練等をサポート



看護

医療を支え、患者を看護する 看護職員

医療現場において、その医療を安全で適切に行うためには、患者さんに対するケアなどの看護は必要不可欠です。ここでは、現場職員の声と看護部での取り組みを紹介します。



夢だった看護師として

4月当初、長年の夢だった看護師として働くことができたという期待と、本当にできるだろうという不安を抱えてこの病院に入職しました。初めは右も左も分からず戸惑う毎日でした。しかし、指導係の方や他の先輩方が優しく丁寧に指導してくださり、少しずつ不安が自信に変わっていききました。先輩方のサポートを受けながら、患者さんの事を一番に考えられる看護師を目指して、一人前になれるようがんばります。



4階病棟 山本 千恵



自分自身も日々成長

新人看護師は多くの業務を覚えることが必要であり、人間関係の構築がストレスの大きな原因です。しかし、十分な確認をするようにして、一方的な関係性にならないように注意しています。毎日が楽しくやることができ、成長できるのが一番です。業務に力をつけていく中で、看護師としての成長を実感できるようになっていきます。



4階病棟 辻本 寛



心の通う 温かい看護の 提供を目指して

看護部長
山内 麻里子

宇陀市立病院は、地域に密着した質の高い医療と看護を提供する役割を担っています。宇陀市の高齢化率は40%を超え、高齢者世帯や独居の方など多くの問題を抱えた方々が、入院後の生活環境が大きく変化することもあり、退院後の生活環境が不安定な方も多く見られます。看護部は、院内の多職種と共にチーム医療を行い、院内外の医療・介護連携ネットワーク「宇陀ケアネット」を運用し、患者さまやご家族が安心して在宅復帰できるように支援しております。

門職として「責任ある行動」をとり、寄り添うことで「やりがい」を感じることもできる職業です。患者さま一人ひとりに「目配り・気配り・優しい笑顔」で対応し、地域で安心して生活できるように心の通った温かい看護を提供していきます。当院で個々の持ち味を活かし、共に関わっていただける方や、看護職に興味のある方は、ぜひ看護体験やインターンシップなどに参加して、宇陀市立病院という職場を知っていただきたいと思います。



職員の子育ても応援しています

キャリアアップ等の教育体制だけでなく、子育て支援等の福利厚生も充実しています。育児休暇制度や育児短時間勤務制度、男性職員も妻の出産にあたり育児休業を取得することが可能です。また、院内には保育園もありますので、子育て中の方も安心して働くことができます。看護師以外の方も利用できますのでお問い合わせください。



院内保育園では、就学前0～6歳のお子さんをお預かりできます。運動会などのイベントもあり、楽しく過ごしています。

一緒に働く仲間を募集しています！

看護職員は2025年には全国で7万人が不足するとも言われています。また今回紹介したように、医療機関は様々な職種の職員で成り立っており、不足すれば適切な医療の供給が困難となります。宇陀市立病院では一緒に地域医療を支える仲間を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

詳しくはこちらから確認してください。



宇陀市立病院 経営企画課 (☎ 82・0381)

教育体制も充実

新人看護師の個々に応じたペースで丁寧な教育を心がけています。看護師のキャリアラダー（レベル別研修）制度を導入しています。個人が目標に向かってスキルアップできるように支援します。eラーニング学習で、自分の空いた時間にいつでも学習可能です。



特集

市政トピックス

うだだから

まちのわだい

みんな子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん